



Moving Global

センコーグループ

第105期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

新中期経営計画 始動。
詳細はP9へ

企業理念

ミッション & ビジョン

未来潮流を創る企業グループ

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、物流・商流事業を核に、未来を動かすサービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。

センコーグループの目指す方向と事業活動への取り組み姿勢を、コーポレート・スローガンに込めています

スローガン

Moving Global

物流を超える
世界を動かす
ビジネスを変える

バリュー

Integrity 誠実

Passion 情熱

Commitment 責任

Respect 敬意

Diversity 多様性

私たちは、上記の価値観を、自らのものとして大切にします。(IP CReD)

営業収益

2021年度
6,231 億円

安定した収益基盤、成長投資により

19 期連続
増収を達成

13 期連続
経常増益を達成

2002年度
1,675

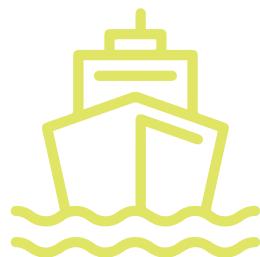


創業

1916

 年

100年を超える歴史の中で、常に時代を先取りする変革に挑戦



支配下船舶数

69 隻

車両台数(ヘッドのみ)

6,727 台



常に時代を先取りする変革と挑戦を続ける
グループ企業数(非連結18社含む)

物流事業  **115** 社

商事・貿易事業  **19** 社

ライフサポート事業  **11** 社

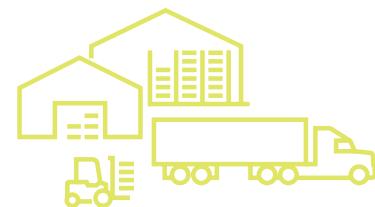
ビジネスサポート事業  **16** 社

合計 **161** 社

業界トップクラスの規模を誇る
物流センター保管面積

国内外あわせて

406 万平方
メートル





株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第105期における営業の概況と決算につきまして報告申し上げます。

センコーグループ
ホールディングス
株式会社
代表取締役社長
福田 泰久

新中期経営計画が2022年度より始動。

事業の深化と創出を通じて、人と社会に新しい価値を届け、持続的な成長を目指します。

中期経営5ヵ年計画の最終年度 業績のさらなる伸長へ

当期の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、燃料価格の高騰ともあいまって、厳しい経営環境で推移しました。

このような中、当社グループは中期経営5ヵ年計画「センコー・イノベーションプラン2021(SIP21)」の最終年度として、業績のさらなる伸長に努めてまいりました。

国内物流事業においては、5月に「岐阜羽島PDセンター」(岐阜県羽島市)、11月に「印西第2ロジスティクスセンター」(千葉県印西市)、3月に「泉南PDセンター」(大阪府泉南市)を稼働させました。

国際物流事業では、4月にオーストラリアで貨物自動車運送事業などを行っている「エアロード社(AIRROAD PTY LIMITED)」を、1月にシンガポール

を拠点に国際航空・海上輸送などを行う「エアプランナーズ社(AIR PLANNERS (S) PTE. LTD.)」をグループに迎えました。

海運事業では、8月に日本マリン株式会社とセンコー汽船株式会社が濃硫酸船「祥硫」を新造・就航させました。

商事・貿易事業においては、1月に家庭紙の卸売事業などを行う「株式会社カルタス」をグループに迎え、また同月、電子材料取引の商権拡大などを目指し、液晶パネルや有機EL製品の材料・部品を取扱う中国商社TOMIグループに出資参画いたしました。

その他事業においては、10月に愛知県内で在留外国人の人材派遣や技能実習生向けの研修事業などを行う「株式会社セルフ・グロウ」を、11月に中四国エリアを中心に、衣服のクリーニング事業やコインランドリー事業を展開する「ダイヤクリーニング株式会社」をグループに迎えました。

環境負荷低減に向けた グループ各社の取り組みが評価

環境負荷低減への取り組みについては、日本物流団体連合会からセンコー株式会社と株式会社ランテックが、6月に「第22回物流環境大賞」の部門賞2件と特別賞1件を、11月に「令和3年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞」の改善部門1件と有効活用部門2件を受賞しました。また、株式会社ランテックは11月に国土交通省九州運輸局から「令和3年自動車・観光・交通政策関係功労者九州運輸局長表彰」を受けました。

今後も当社グループは、人々の生活を支援する企業グループとして、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

グループ全体の取り組みにより 増収増益を達成

営業収益面では収益認識会計基準等の適用影響などがあり、利益面では燃料価格の上昇影響などがありましたが、グループ全体で拡販ならびにコスト改善・

生産性向上に取り組むとともに、M&Aを推進した結果、連結営業収益、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期を上回る結果となりました。

2021年度業績

連結営業収益	6,231億円	前期比8.9%増
連結営業利益	248億円	前期比15.1%増
連結経常利益	261億円	前期比17.4%増
親会社株主に帰属する当期純利益	152億円	前期比6.9%増

新中期経営計画を策定 5つの重点課題に注力

今後の経済環境は、ウクライナ情勢や資源価格の上昇、米国の金融政策の動向などが懸念されますが、緩やかに回復していくことが期待されます。

このような環境の中、当社グループは、2022年度を初年度とする5年間の新しい中期経営計画を策定いたしました。

「事業の深化と創出を通じて、人と社会に新しい価値を届け、持続的な成長を目指す」ことを基本方針として、

1. 既存事業の拡大と深化
2. 成長事業の創出と育成
3. ESG+H(健康)経営への取り組み
4. グループ経営の高度化
5. 働きがいと個人の成長の実現

の5つの重点課題に取り組んでまいります。

中期経営計画の初年度となる次期連結業績予想は、連結営業収益7,000億円、連結営業利益267億円、連結経常利益270億円、親会社株主に帰属する当期純利益160億円を見込んでおります。

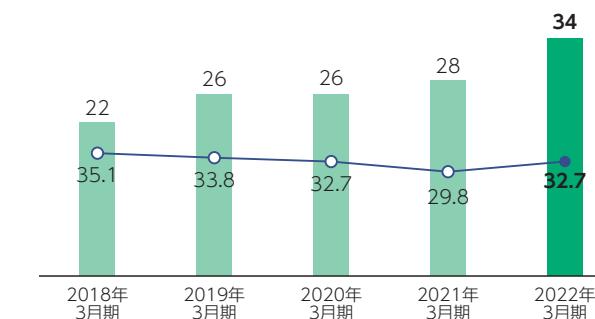
期末配当金を2円増配 年間配当金は34円に

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

この基本方針のもと、2022年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり15円としておりましたが、年間の業績が順調に推移したことを勘案し、1株当たり17円とし、既に実施している中間配当金17円と合わせまして、年間配当金を34円といたしました。

2023年3月期の配当予想につきましては、業績予想を踏まえ、年間配当1株当たり34円(中間配当17円、期末配当17円)とさせていただきます。

1株当たり配当金／連結配当性向



免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。



物流事業

営業収益 4,325億円 営業利益 230億円

当期の状況

燃料価格の上昇影響などがありましたが、前期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少した物量が回復する中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は4,325億38百万円と対前期比451億88百万円の増収、セグメント利益は230億13百万円と対前期比36億15百万円の増益となりました。

事業収入

	流通ロジスティクス	住宅物流	ケミカル物流	その他物流
2021年3月期 合計 3,874億円	2,287億円	583億円	735億円	269億円
2022年3月期 合計 4,325億円	2,554億円	618億円	859億円	295億円



流通ロジスティクス

対前期比267億円の増収となりました。



住宅物流

対前期比35億円の増収となりました。



ケミカル物流

対前期比124億円の増収となりました。



その他物流

対前期比26億円の増収となりました。



商事・貿易事業

営業収益 1,530億円 営業利益 29億円

当期の状況

4月に家庭紙卸売のアズフィット(株)を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善に努めましたが、収益認識会計基準等の適用影響、燃料販売における仕入価格の上昇などにより、営業収益は1,530億49百万円と対前期比87億70百万円の減収、セグメント利益は29億5百万円と対前期比1億30百万円の減益となりました。



その他事業

営業収益 376億円 営業利益 1億円

当期の状況

2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内(株)を連結子会社化し、拡販ならびにコスト改善などに努めたことにより、営業収益は375億50百万円と対前期比143億15百万円の増収、セグメント利益は99百万円と対前期比1億61百万円の増益となりました。



営業収益構成比

計 6,231億円

物流事業 69.4% 商事・貿易事業 24.6% その他事業 6.0%

新中期経営計画 (2022年度～2026年度)

当社グループは、2022年度を初年度とする5年間の新しい中期経営計画をスタートさせました。「事業の深化と創出を通じて、人と社会に新しい価値を届け、持続的な成長を目指す」ことを基本方針として、「既存事業の拡大と深化」、「成長事業の創出と育成」、「ESG+H (健康) 経営への取り組み」、「グループ経営の高度化」、「働きがいと個人の成長の実現」の5つの重点課題に取り組んでまいります。

前中期経営計画の振り返り (2017年度～2021年度)

主要な中期経営目標

		2016年度		2021年度	
		実績	中計目標	実績	実績
営業収益	億円	4,554	7,000	6,681	
営業利益	億円	170.8	280.0	247.7	
営業利益率	%	3.8	4.0	3.7	
物流センター保管面積	万㎡	322	400	406	
自社車両台数 (ヘッド)	台	4,426	6,700	6,727	
ROE	%	9.5	10.5	10.8	
ネットD/Eレシオ	倍	0.58	0.64	0.95	
自己資本比率	%	35.1	40.2	30.6	

※2021年度実績は計画編成時には適用のなかった収益認識会計基準の影響を戻した値。

- 中期経営計画目標値に対し、営業収益△319億円、営業利益△32億円。
- 2016年度実績に対して、営業収益46.7%、営業利益45.0%伸長。
- 生産体制の整備は順調に推移。

新中期経営計画 (2022年度～2026年度)

基本方針

事業の深化と
創出を通じて、
人と社会に
新しい価値を届け、
持続的な成長を目指す

重点課題

1. 既存事業の拡大と深化
2. 成長事業の創出と育成
3. ESG+H (健康) 経営への取り組み
4. グループ経営の高度化
5. 働きがいと個人の成長の実現

新中期経営計画の全体数値目標

収支計画 (億円)

	2021年度実績	2026年度目標
営業収益	6,231	10,000
営業利益	248	450
営業利益率	4.0%	4.5%
ROE	10.8%	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.95倍	1倍未満

投資計画 (億円)

物流・商業施設、車両・荷役設備等	2,000
戦略投資 (M&A、IT、環境)	900
計	2,900

生産体制

	2021年度実績	2026年度目標
物流センター保管面積	406万㎡	500万㎡
自社車両台数 (ヘッド)	6,727台	10,000台

セグメント別目標と重点施策

		売上目標(億円) (2021年度→2026年度)	重点施策
物流事業	国内物流	3,217 → 4,500	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合提案力と直営主体の安定力に基づく受注拡大 ● 物流施設・車両体制の増強とM&Aの推進
	冷凍冷蔵物流	582 → 800	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点整備の加速とフレッシュ便の更なる拡大
	国際物流	366 → 700	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点拡大によるグローバルネットワークの確立
	海運	241 → 450	<ul style="list-style-type: none"> ● 船腹増強によるシェアアップの推進

(国内物流): センコー(株)など52社で構成

(冷凍冷蔵物流): (株)ランテックなど4社で構成

(国際物流): センコー・フォワーディング(株)など、国内外34社で構成

(海運): 日本マリン(株)など12社で構成

商事・貿易事業	商事販売	455 → 600	<ul style="list-style-type: none"> ● E C 販売の強化と独自商品の拡大
	家庭紙卸	818 → 1,100	<ul style="list-style-type: none"> ● 卸3社の運営効率化とシェアアップの推進
	貿易	188 → 250	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国電子材料商社との合併運営による商権の維持・拡大

(商事販売): (株)スマイルなど12社で構成

(家庭紙卸): アスト(株)など3社で構成

(貿易): (株)SENKO International Trading1社で構成

	売上目標(億円) (2021年度→2026年度)	重点施策
ライフサポート事業	288 → 800	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症による落ち込みからの早期回復と出店拡大 ● 健康、生活、食領域におけるM&Aの推進

(健康領域): (株)ビーナスなど3社

(生活領域): 寺内(株)など4社

(食領域): (株)ライフイトなど3社、計10社で構成

ビジネスサポート事業	77 → 300	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症による落ち込みからの早期回復 ● 人材派遣業など、M&Aの推進
------------	-----------------	--

不動産、情報、人材派遣など15社で構成

その他事業	0 → 500	<ul style="list-style-type: none"> ● 新分野への参入
-------	----------------	---

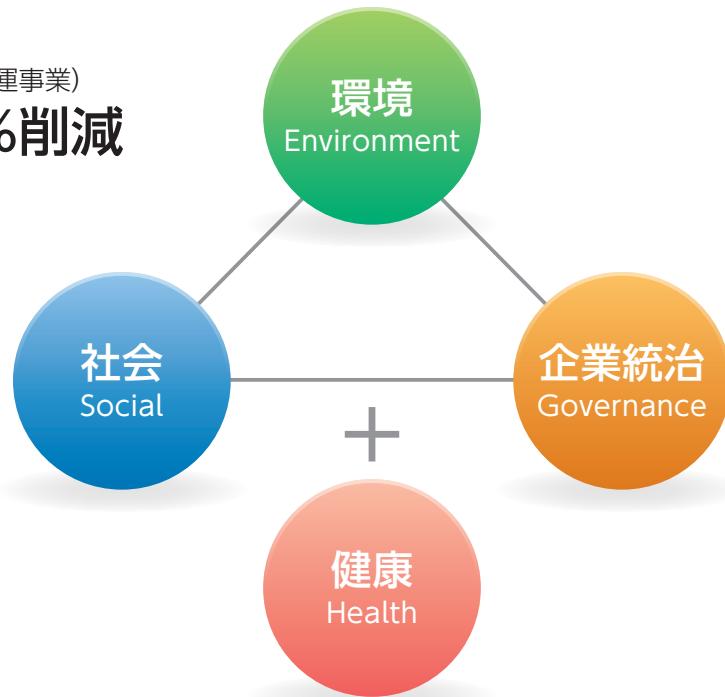
ESG・グループ経営の重点施策

ESG+H 経営

主要数値目標

CO₂排出原単位（陸運事業）
2020年度比 **10%削減**

女性管理職比率
15%以上



自社環境対策や
モーダルシフトの
推進

多様な人材を
活かせる制度改革と
就業機会の拡大

自動化・省力化に
向けた
先端技術の導入

スポーツ・
文化活動を通じた
健康経営の実践

ESG TOPICS

グリーン物流の推進と進捗

センコーグループは環境負荷を低減する「グリーン物流」をいち早く提唱し推進しています。2021年度のCO₂削減効果は1,059t-CO₂となりました。



CO₂ 1 トンは、
杉の木約71本が
1年間に吸収する
CO₂量に相当します。

2021年度

	グリーン提案 成約件数	CO ₂ 削減効果(t-CO ₂)		
		期間差	新規	計
センコー(株)	13	637	129	766
グループ各社	地域センコー	52	52	104
	東京納品代行(株)	0	9	9
	センコーエーライン アマノ(株)	0	1	1
	(株)ランテック	15	164	179
計	24	67	226	293
合計	37	704	355	1,059

各事業のネットワーク拡大とともに、 環境への取り組みも進めています

●「センコー泉南PDセンター」を竣工

2022年3月、大阪府泉南市に大型物流施設「センコー泉南PDセンター」を竣工しました。この新センターを皮切りに、当社では物流施設の賃貸事業をスタート。グループへより高品質で低コストに物件を提供します。

また、屋上全面に設置した太陽光パネルで新センターの使用電力を自家消費しながら、余剰電力をグループ間で融通する自己託送を、関西電力㈱と共同で取り組んでいます。自己託送先は、グループの物流施設2カ所と商業施設1カ所で、グループ間の複数企業をまたぐ3拠点へ自己託送を行うのは、国内初の取り組み(関西電力調べ)となります。



●国際航空輸送事業を強化

2022年1月、シンガポールを拠点に国際航空・海上輸送を行うエアプランナーズ社(AIR PLANNERS (S) PTE. LTD.)をグループ化しました。

エアプランナーズ社はASEAN各国をはじめ香港、台湾、フィリピン、インドネシアなど17拠点にある協力会社のネットワークを生かし、ASEAN・中国発の越境EC物流向け小口貨物輸送に強みを持つ有力企業です。

今後もフォワードディングサービスの多様化・物流ネットワークの拡充を図り、国際物流事業のさらなる拡大に取り組んでいきます。



●家庭紙の総合商社カルタスを子会社化

2021年11月、家庭紙・日用雑貨の卸売や企画・販売などを行う㈱カルタスをグループ化しました。同社はティッシュやトイレトーパー、キッチンタオルといった家庭紙の総合商社で、独自企画の商品も販売。主に首都圏の小売店や量販店に販売しています。

家庭紙卸売業のアスト㈱、アズフィット㈱に㈱カルタスが加わることで、グループ内での3社連携で㈱カルタスの商品開発・価格競争力の向上、センコーグループの配送網やノウハウを活用した物流効率化などを進め、家庭紙卸業界でのグループのシェア拡大を目指していきます。



●外国人人材派遣企業2社を子会社化

2021年10月に㈱セルフ・グロウを、2022年4月にKyoudou Project㈱をグループ化しました。

㈱セルフ・グロウは、愛知県内で在留外国人の人材派遣や技能実習生向けの研修事業を行うなど外国人材の就労支援・受入れを幅広くサポート。Kyoudou Project㈱は、茨城県南部を拠点に関東地区の大手食品加工会社や金属製造会社など約40社へ外国人派遣を行っています。

2社のグループ化により、グループ内外での外国人材の雇用拡大への対応や関東地区での大型物流拠点の労働力確保を進めます。



―「ダブル連結トラック」運行、EV車のグループ導入で脱炭素を推進

2022年1月、センコー㈱は大型車2台分の貨物を、1名のドライバーで輸送できる「ダブル連結トラック」の出発式を行いました。大型車2台分を連結し高速道路の長距離区間を輸送した後に再び大型トラック、セミトレーラーの2台に分かれて運送することで、ドライバーの拘束時間とCO₂排出量のダブル削減に貢献します。

また同月、当社ではグループ会社4社にて軽自動車5台、小型トラック1台の電気自動車(EV車)を導入しました。さらにグループ全体で環境対応車の導入を拡げ、環境に優しい物流を推進することで、持続可能な社会の発展に寄与していきます。



―「全国トラックドライバー・コンテスト」11トン部門で初優勝

2021年10月に開催された「第53回 全国トラックドライバー・コンテスト」において南九州センコー㈱の真佐喜龍星社員が11トン部門で優勝しました。11トン部門での優勝はグループ初の快挙です。

本大会はトラックドライバーに求められる高度な運転技能と、関係法令、車両構造等に関する専門的な知識を競うもので、各都道府県で行われる予選会を勝ち進んだ108名が出場しました。センコーグループからは6名が出場し、11トン部門優勝をはじめ、トレーラ部門でも3位、5位入賞と好成績を収めました。



Financial

営業収益

(百万円)



営業利益 / 営業利益率

■ 営業利益 (百万円) ◆ 営業利益率 (%)



親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本利益率 (ROE)

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) ◆ 自己資本利益率 (%)



総資産 / 純資産 / 自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 (百万円) ◆ 自己資本比率 (%)



決算のポイント

- 1 収益認識会計基準等の適用影響を受けるも、拡販ならびにM&Aが寄与し、営業収益は前期比507億円増収(8.9%増)。
- 2 グループ全体で拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、M & Aを推進した結果、利益はいずれも前期を上回る。
- 3 総資産は前期比444億円増加、純資産は前期比145億円増加。自己資本比率は0.3ポイント低下し、30.6%。

Non-financial

CO₂排出量/売上当たり(陸運事業)

(t-CO₂/百万円)

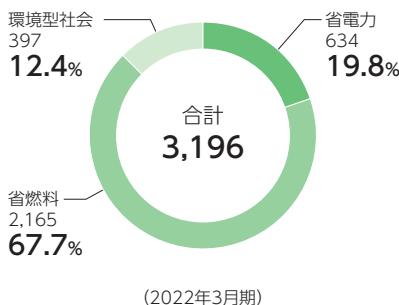
1.18 t-CO₂/百万円

2026年目標：2020年度比10%削減



CO₂削減活動実績

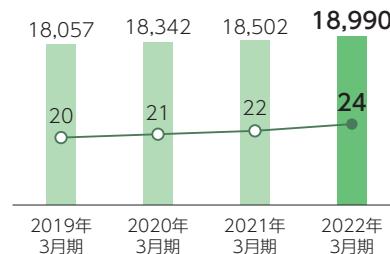
(t-CO₂)



再生可能エネルギー

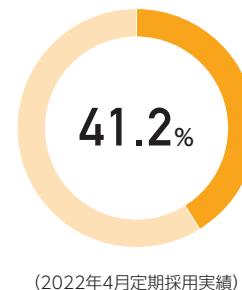
(太陽光は「1,000kWh」、発電所は「事業所」)

■ 太陽光発電実績 ◆ 発電所数



新卒採用者に占める女性の割合

(%)



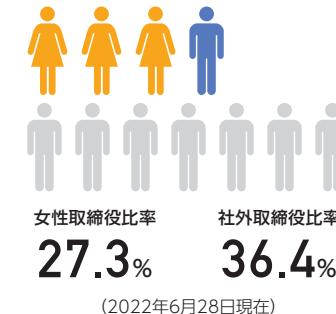
管理職に占める女性の割合

(%)



女性取締役比率 / 社外取締役比率

(%)



会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	センコーグループホールディングス株式会社 (SENKO Group Holdings Co., Ltd.)
創業	1916年9月
設立	1946年7月
本社所在地	東京都江東区潮見二丁目8番10号
資本金	284億79百万円
グループ従業員数	20,725名
グループ会社数	161社(子会社147社、関連会社14社)

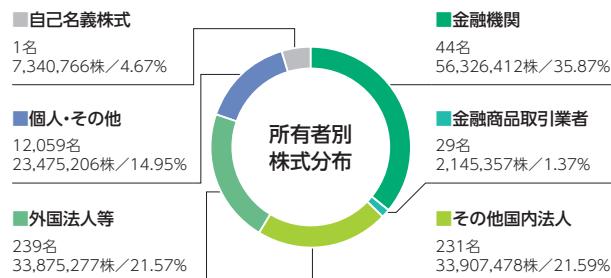
役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	福田 泰久	常務執行役員	藤田 浩二
取締役 常務執行役員	佐々木 信郎	常務執行役員	大野 茂
取締役	米司 博	常務執行役員	竹谷 聡
取締役	谷口 玲	常務執行役員	増田 康裕
取締役	杉本 健司	執行役員	篠原 信治
取締役	高梨 利雄	執行役員	森口 嘉久
取締役	嘉永 良樹	執行役員	森口 孝司
取締役	飴野 仁子	執行役員	野村 康則
取締役	杉浦 康之	執行役員	田中 正志
取締役	荒木 葉子	執行役員	小久保 悟
取締役	奥野 史子	執行役員	山崎 真人
常勤監査役	上中 正敦	執行役員	新田 浩隆
常勤監査役	齋田 正己	執行役員	森岡 直人
常勤監査役	松友 泰		
監査役	岡野 芳郎		

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	294,999,000株
発行済株式総数	157,070,496株
株主総数	12,603名

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.senkogrouphd.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内
税務関係のお手続きのため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。お届出のお手続きについては、口座を開設されている証券会社などへお尋ねください。



URL <https://www.senkogrouphd.co.jp>

〒135-0052

東京都江東区潮見二丁目8番10号

公式Instagram
senko_group.official



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。